

# 令和元年度 指定管理者評価シート

所 管 課	福祉部 地域福祉課
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

## 令和元年度 指定管理者評価シート<1> 指定概要 (指定管理者によりご記入をお願いします。)

施設概要	名 称	川西市老人憩いの家 鶴寿会館
	所在地	兵庫県川西市小戸2丁目13番12号
	設置目的	高齢者の心身の健康の増進を図る
利 用 料 金 制		非利用料金制
指定管理者	名 称	鶴の荘自治会
	所在地	兵庫県川西市小戸2丁目13番12号
指定管理業務の内容		<p>指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>(1)川西市老人憩いの家の設置及び管理に関する条例(昭和57年川西市条例第13号)(以下「条例」という。)第3条に規定する事業に関する事</p> <p>(2)条例第4条に規定する使用許可等に関する事</p> <p>(3)条例第7条に規定する使用の制限に関する事</p> <p>(4)条例第9条に規定する使用許可の取消し等に関する事</p> <p>(5)条例第12条に規定する入館の制限に関する事</p> <p>(6)施設及びその付属設備の維持管理に関する事</p> <p>(7)前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務に関する事</p>
指定期間		平成29年4月1日～令和4年3月31日

A	優	良
B	良	好
C	課	題 含
D	要	改 善

施設名	鶴寿会館	管理者	鶴の荘自治会	所管課	地域福祉課	
区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】		A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成		A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成
法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。		A	市より求められた設置規則に基き、おおむね成果が得られたと考える。	A	多種多様な登録グループに活動の場を提供し、設置目的に沿って有効に活用されています。	意見なし
利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。		A	質問の通り適正な方法で周知されていると考える	A	職員が配慮し、適切に運営されています。	意見なし
施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。		A	交通至便・環境に恵まれ利用者数は増加しているが、登録グループ及利用数は微減である。利用者の老令化であろう。	A	交通至便や環境が良いことを背景に利用者数の増加につながっています。これを活かしつつ、広報活動にも努めてください。	意見なし
< 課題 >					共同利用施設との併設のメリットを生かし、比較的若い世代の利用につながるよう広報等が必要です。	意見なし
< 改善内容 >					比較的若い世代の利用増に向けた取り組みについてご検討ください。	意見なし
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況		A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。		A	運営規則の許す範囲で利用者の利便性を常に考慮している。	A	利用者の利便性に配慮されており、施設の有効活用のための働きかけを行っています。	意見なし
施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。		A	上記に準ずる。	A	共同利用施設として様々な世代が活用できるよう、引き続き広報をお願いします。	意見なし
< 課題 >					特になし。	意見なし
< 改善内容 >					特になし。	意見なし
(1-3) 利用者の満足度		A		A		(1-3) 利用者の満足度
利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。		A	毎年、利用者説明会を開催し、その要望を窓口業務に反響させている。	A	毎年利用者に対する説明会等を実施し、利用者からの意向に関して適切に調整等を実施しています。	意見なし
利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。		A	上記要望の中に玄関の「手すり」の設置要望の件で御世話になりました。大好評である。	A	普段からのコミュニケーションによって利用者からの高い満足度を維持しており、評価できます。	意見なし
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。		A	苦情等があれば可能な範囲で対応している。	A	利用者からの声に普段から対応しており、結果、苦情の少ない体制を築くことができています。	意見なし
アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。		A	各グループの代表者とは常に意見交換をして会館運営に反映させている。	A	頻繁に登録グループのとのコミュニケーションに努めている結果、適切に意見の把握ができています。	意見なし
サービスの質を向上させるため具体的な取組みを行ったか。また、取組みの結果、どのような効果が得られたか。		A	全館のエアコン清掃をした。今後も定期的に行いたい。	A	快適に施設利用ができるよう配慮されています。	意見なし
< 課題 >					設備等の保守・修繕については、計画的に市と協議を進めてください。	意見なし
< 改善内容 >					特になし。	意見なし

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	鶴寿会館	管理者	鶴の荘自治会	所管課	地域福祉課	区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)								
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A			A			2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】						
(2-1) 経費の節減	A			A			(2-1) 経費の節減						
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	経費の件では、節減の余地は考えられない。節電・節水の件では、常に利用者呼びかけ、スタッフも気をつけている。		A	職員のみならず、利用者に対しても節電、節水などの働きかけを行い、その結果、無理のない範囲で経費節減につながられています。		意見なし						
管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	常に競争の原理を基礎に考えている。		A	複数業者から見積もりを取るなど、経費節減に努められています。		意見なし						
< 課 題 >					特になし。		意見なし						
< 改善内容 >					特になし。		意見なし						
(2-2) 収入の増加	評価なし			評価なし			(2-2) 収入の増加						
収入を増加させるための具体的な方法の検討や取組みを行ったか。													
収入の増加など取組みの効果は得られたか。													
< 課 題 >													
< 改善内容 >													
(2-3) 収支のバランスなど	評価なし			評価なし			(2-3) 収支のバランスなど						
収支のバランスは、適切であったか。													
費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。													
収支の内容に不適切な点はなかったか。													
< 課 題 >													
< 改善内容 >													

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	鶴寿会館	管理者	鶴の荘自治会	所管課	地域福祉課	区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)								
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A			A			3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】						
(3-1) 管理運営の実施状況	A			A			(3-1) 管理運営の実施状況						
法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	適正な人員配置と考えている。		A	過去の実績に基づき利用者数に合わせた職員配置を実施するなど、柔軟かつ適切に配置しています。		意見なし						
法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	常に研修教育を行っており、適切であると考えられる。		A	消防訓練については、消防署員の指導を仰ぐなど適切に実施しています。また、法令順守等の部分については、担当課と連携と相談しながら、適切に対応しています。		意見なし						
経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	現今の経費、サービスの質等は適切と考えている。利用者目線を基本としている。		A	サービスの質を維持しつつも経費節減に努められ、利用者のニーズに沿った運営がなされています。		意見なし						
施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	2階一部の室の冷房効率の悪さがあり、増設を検討中。照明のLED化をもっとすすめたい。より快適、より経費節減の為に。		A	空調機器や照明器具など、将来的な経費節減も見据え、市と協議しながら計画的に整備に努めてください。		意見なし						
< 課 題 >					特になし。		意見なし						
< 改善内容 >					特になし。		意見なし						
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A			A			(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など						
法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	私共は最終チェックは利用者目線と考えている。そこからして正しく機能されていると考える。		A	施設管理の上で必要となる設備点検等について、毎年実施。その他手続きについても、昨年同様チェック体制が整えられています。		意見なし						
施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	厳正に対処している。少なくとも外部にもれていないと考える。		A	個人情報については、管理人室で保管や職員への意識付けなどを含めて、適切に対応されています。		意見なし						
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	事故防止。安全対策として玄関・靴ぬぎ場の「手すり」の設置は大好評である。		A	施設整備面以外に、利用者の身体状況に応じて対応するなど、適正に安全対策をとっておられます。		意見なし						
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	防犯：利用後の施錠の確認。スタッフは終業後の見廻り実施、及、祭日、休日、午後5時以降の見廻り、実施している。 防火：年に1回の消防訓練実施		A	利用者、職員共に防犯防災意識を持ち、常に対応できるよう注意喚起を行い、消防訓練を実施する等配慮してされています。		意見なし						
事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	マニュアルは館内見やすい所に掲示。衆知に務めている。		A	マニュアルは、必要な場合は誰もがすぐに確認できるよう適切に整備されています。		意見なし						
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。	A	利用マニュアルの下、公平に利用してもらえる様、配慮している。		A	マニュアルに基づき、利用者が平等に利用できるよう配慮されています。		意見なし						
利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。							意見なし						
< 課 題 >					特になし。		意見なし						
< 改善内容 >					特になし。		意見なし						

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	鶴寿会館	管理者	鶴の荘自治会	所管課	地域福祉課	
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価ランク	A			A		
・評価できる内容	より快適・安全に利用できる様、一歩ずつでも前進できているかと考える。			手すりの設置やエアコンの清掃など、様々な取り組みを通して利用者の利便性や利用環境の向上に努めたことにより、利用に際して適切な環境を整えています。		玄関の手すりや椅子の設置、庭の草花の手入れ、会館の清掃について細やかな優しい気配りを感じる。スタッフの公平な対応もありがたい。
・令和元年度に改善した内容	会館内：エアコンの分解・清掃により快適さの向上、経費の節減につながると考える。 玄関：「手すり」の設置による安全の向上			快適な施設利用について、職員の気づきや利用者の要望に迅速に対応されています。		意見なし
・令和元年度に改善したことによる効果	同上			利用環境を整えたことにより、利用者が増加に向かう等、一定の成果が見られます。		意見なし
・問題があり次年度以降改善が必要な点	屋上の防水工事をすすめたい。 外壁のクラックの修理、内壁に水もれ、みこみ「シミ」の発生がある。コンクリ壁の劣化による配管の損傷、水モレの恐れ			施設の老朽化により、建物や設備等に修繕必要箇所増加してきています。緊急に修繕が必要となる箇所や、今後必要な箇所については、市と適宜協議してください。		意見なし
・改善方法とその時期	2階 クリーングタワの撤去 及 1階 機械室の上記の撤去			簡易な修理等は自らで実施するなど対応していますが、建物本体の補修等については、市と適宜協議を実施してください。		意見なし

【記入上の留意点】

- (1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。  
(2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。